

法人本部

中期事業計画の中間年として、健康経営、聖隷DX、業務効率化、投資管理など、目標達成に向けて推進をしていく。職員の働きやすさとともに、エンゲージメントが高まる仕組みを整える。情報システムではサイバー攻撃脅威への対策強化や、スマートフォン向け「聖隷アプリ」の運用を開始する。電子申請の全事業部導入や労務業務の集約など、ペーパーレス化・業務効率化を行うとともに、事業部・施設への支援体制、内部監査の制度向上に努める。また、2022年度に始動した、聖隷の2030年の姿を見据えた「聖隷みらい創造プロジェクト」は継続して取り組んでいく。

1. 社会福祉法人として最高の質を追求した事業を展開する
2. 人材の確保と育成を推進する
3. 大規模広域法人としての強みを活かした仕組化を推進する
4. 聖隷DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する
5. ディーセント・ワーク（人生と両立できる働きがいのある仕事）を推進する
6. 現有資源を有効に活用し経営環境の急変にも揺るがない財務体質とする

各部署は、次の年度事業目標（重点施策）を策定する。

[総務部]

1. 地域における公益的な取組等を適切かつ積極的に情報開示する
2. 過去に行った総務課長会勉強会資料をデータ化し、活用する
3. 各種規則・制度理解のため、電子データを活用した資料、動画により職員が「いつでも」「どこでも」学べるようにする
4. 次世代の総務役職者を育成する
5. 労務業務の更なる集約化を進め検証を行う
6. 広域防災対策対応として各施設の状況確認を行う
7. 電子申請の運用を精査し、ペーパーレス化・業務効率化をさらに進める
8. 稟議書・契約書の電子化に向けた検討を行う
9. 人事・給与システムの更新について検討を行う
10. 福利厚生の一環として選択型確定拠出年金（DC）を導入する
11. 医師等専門職の働き方及び処遇の検討をする
12. 新たな福利厚生サービスの検討を行う

[人事企画部]

1. 多様な人材・必要な人材を採用する
2. 多様な人材が活躍できるよう育成を行う
3. 公正公平な人事評価を実現する
4. 職員が働きやすい環境づくりと配置を実現する
5. 採用・育成・配置に関する業務の DX を推進する
6. 人事・採用・育成関連の制度を検証する

[財務部]

1. BS 経営、CF 経営の推進による事業団経営管理機能強化
2. 集約化・DX 推進による経理業務の効率化
3. 経理職員の育成
4. 災害対策への取り組み

[総合情報システム部]

1. 情報セキュリティ強化とオンラインコミュニケーションツールの利用拡大に取り組む
2. 情報部門に必要とされる人材の育成と確保に取り組む
3. 将来の情報部門の在り方検討と人材の最適配置を行う
4. 事業団各事業部におけるシステム導入を支援する
5. ICT を活用した情報基盤の整備と聖隷 DX を推進する

[総合企画室]

1. 将来を見据えた事業計画・組織改革を実施する
2. 効果的な経営支援の実践を通して経営を担う人材を育成する
3. 全国の社会福祉法人の模範となる秘書・広報活動を実施する

[健康推進室]

1. 生産性および働きやすさを向上させる施策の実行
2. メンタルヘルス推進施策の実行
3. 健康診断の事後措置施策の実行

[監査室]

1. 内部監査の精度を向上させる
2. 内部通報制度を充実させる
3. コンプライアンス経営に資する教育活動を実施する